



## 令和3年度第2回学校評価アンケートの集計結果について

立春の候、保護者・地域の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。先日は第2回学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。以下のとおり結果をまとめましたので、報告いたします。

◆実施日：(令和3年12月3日～13日)

◆児童：708/722人(提出数/児童数)98.1% ◆保護者：677/722人(提出数/児童数)93.8%

※肯定的評価[%]:よく出来ている+大体出来ている、否定的評価[%]:あまり出来ていない+出来ていない。肯定的評価+否定的評価+無回答(または、分からない)=100%

※( )は第1回の割合

設問番号	対象	設問内容	肯定的評価(第1回)	否定的評価
1	保護者	お子様は、楽しく学校に通っている。	97(95)↑	3
	児童	学校は楽しいと思う。	93(89)↑	5
2	保護者	お子様は、授業で学んだことが身に付いている。	88(82)↑	10
	児童	授業がよく分かる。	90(84)↑	8
3	保護者	学校は「タブレットを活用した授業づくり」に取り組んでいる。	87(73)↑	3
	児童	学校で、タブレットを使い、楽しく勉強している。	94(94)	4
4	保護者	学校は、お子さんが学習に専念できる温かい人間関係を築いている。	89(76)↑	4
	児童	先生は、学習で友だちと話し合ったり、考えたりしやすい雰囲気をつくったりしている。	89(85)↑	8
5	保護者	お子様は、家庭学習の習慣が身に付いている。	70(64)↑	30
	児童	家で、宿題や自主学習に一生懸命取り組んでいる。	80(81)↓	18
6	保護者	お子様は、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付いている。	83(80)↑	17
	児童	「早寝・早起き・朝ご飯」をいつも守っている。	75(73)↑	22
7	保護者	お子様は、進んで読書している。	36(36)	64
	児童	学校や家で進んで読書している。	65(68)↓	32
8	保護者	お子様は、自分からあいさつしている。	69(60)↑	29
	児童	いつでも、自分からあいさつしている。	77(72)↑	20
9	保護者	お子様は進んで運動している。	60(63)↓	40
	児童	家や学校で、外で元気に遊んでいる。	84(83)↑	14
10	保護者	お子様は自分自身や友達を大切にしている心が育っている。	97(91)↑	2
	児童	友達と仲良くしている。	94(90)↑	4
11	保護者	学校は、「いじめのない学級・学校づくり」に取り組んでいる。	76(71)↑	4
	児童	いじめがなく、安心して学級で過ごしている。	87(85)↑	10
12	保護者	折に触れて、家庭で交通安全や防災、感染症予防について話をしている。	78(83)↓	22
	児童	自分や身の回りの人の安全を考えて生活している。(交通安全や防災、感染症予防)	89(89)	7
13	保護者	学校は、便りやホームページ、メールなどで方針や取組がよく分かるように伝えている。	94(90)↑	3
	児童	家で、学校であったことを話している。	79(78)↑	18
14	保護者	学校は、地域(ひと・こと・もの)を生かした教育を進めている。	81(75)↑	3
	児童	地域に出て行ったり、地域の方と一緒に勉強したりしている。	55(42)↑	32

◎自由記述の報告については割愛させていただきます。貴重なご意見をありがとうございました。

**裏面につづく**

## 第2回学校評価アンケートを受けて

以上の結果をもとに、校内の学校運営プロジェクトチームで今年度の取組の成果と課題、そして今後の取組について検討しました。来年度に向けて、できることから取組を始め、地域とともにある学校として、皆様のご理解とご協力を得ながらよりよい教育活動・学校運営を推進していく所存です。

### 《学力向上チーム》

家庭での学習習慣が少しずつ定着してきました。今後も取組の姿勢を価値付けるとともに、児童が自ら計画的に自主学習に取り組めるよう、児童に合わせた取り組み方を工夫していきます。漢字・計算大会や自主学習コンクール等、継続して実施していきます。

また、授業やオンライン学習で、タブレットPCを積極的に活用できるようになりました。児童や教職員の互いに効果的な活用をめざしていきます。

タブレットPC等のICT機器を活用した授業や学校図書館の取組等、学習のようすについて、今後も継続して各種便りやホームページ等でお伝えしていきます。



### 《心の教育チーム》

家庭や地域とともに取り組んだ「あいさつ大作戦」をきっかけに、自分からあいさつをする児童が増えました。あいさつのよさや意義を感じ、時と場に応じた気持ちのよいあいさつができるよう、学期に1回の「あいさつ週間」を設け、児童主体のあいさつ運動を展開していきます。

どの児童も「学校が楽しい」と感じることができるよう、毎週行う生活アンケートや学期に1回の「教育相談週間」の充実を図り、児童一人ひとりの思いに寄り添うとともにいじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めます。



### 《安心・安全チーム》

さまざまな感染症対策を講じる中で、自分を守るためだけでなく、周りの人への思いやりであることに気付くことができるよう指導しています。

長期休業の終わりに、運動・メディア・朝ご飯・睡眠等の生活習慣を見直す期間を設定し、生活リズムを整えて新学期を迎えることができるようにします。

家庭でも話題に取り上げていただけるよう、各種便りで避難訓練や地区別下校、防災学習等の取組をお伝えします。



### 《その他、教育活動全般》

コロナ禍により、保護者・地域と連携した教育活動には制限がありましたが、可能な限り工夫して実施することができました。11月にはコミュニティ・スクールなかのせきイメージキャラクター「なっかー」が誕生し、あいさつバッジやあいさつ啓発の幟に登場しました。また、「なかのせきジュニアボランティアスタッフ」として地域の行事等に参加し、手伝う児童も見られるようになりました。1月に行われた中関どんどやきでは、6年生を中心に、17名の児童が「なっかー」のデザインされたスタッフジャンパーを着て活躍することができました。

ホームページでは積極的に更新して学校や児童のようすをお伝えしていきます。今後も保護者・地域住民、そして児童にとって有益かつ有用な情報発信を引き続き、こまめに続けていきます。

